

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生涯学習部社会教育課	直通電話	72-3173	事業コード	406010104	課内	23	作成日	平成15年8月15日
	担当者		千葉 奈緒美	担当課長			児玉 利英	担当部長	樋口 幸廣

1 事業のアウトライン

1) 事業名	ロビー展等開催事業	開始年度	H9	終了年度	未定						
		最近の事業内容見直し年度	H14								
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>4060101</td> <td>芸術、文化の振興/芸術・文化活動の充実/芸術・文化団体の育成</td> </tr> <tr> <td>4060102</td> <td>芸術、文化の振興/芸術・文化活動の充実/芸術・文化に接する機会と発表機会の拡充</td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	4060101	芸術、文化の振興/芸術・文化活動の充実/芸術・文化団体の育成	4060102	芸術、文化の振興/芸術・文化活動の充実/芸術・文化に接する機会と発表機会の拡充
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目										
4060101	芸術、文化の振興/芸術・文化活動の充実/芸術・文化団体の育成										
4060102	芸術、文化の振興/芸術・文化活動の充実/芸術・文化に接する機会と発表機会の拡充										
3) 個別計画での位置付け	石狩市教育プラン 市民の創造をはぐくむ、特色ある石狩文化を創造します(第3篇 基本計画 6)										

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	石狩市内の芸術文化活動している人材の発掘と、市民の継続的な文化活動の発展と鑑賞機会を提供する。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市役所ロビーという身近な場を通して、市民に芸術鑑賞の機会を提供することで、市民の芸術文化に対する関心を引き出し、文化活動が活発になるように
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	・ 出展・出演者を交通費程度の報酬で依頼し、偶数月にロビー展、奇数月にロビーコンサートを開催する。 ・ また、一般公募を募り、発表の機会を提供する(報酬なし)。それらに係る広報活動(チラシ・ポスター等の印刷、広報誌や新聞等への掲載)やピアノ調律、著作権使用料、展示に使用する器具などの用意については、教育委員会で負担する。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	市民から「八幡地区でのコンサートを実施してほしい」との要望があり、11月に八幡コミュニティセンター・ロビーにて、ロビーコンサート特別企画として開催した。
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	・ 市民が気軽に芸術に触れることができ、また、芸術活動をする市民が活動の成果を発表する場所・機会が不足しているため、それらを提供するものとして、ロビー展・ロビーコンサートを開催している。市民からは「ジャズのコンサートを開催してほしい」「こんな展示が観たい」などの意見が寄せられるなど、好評を得ている。・ 類似事業としては、札幌市・北広島市などで、庁舎や文化ホール等の施設を利用したロビー展・ロビーコンサートが実施されている。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	一般公募による展示・コンサートを実施することで、市民の事業への参加に取り組んでいる。
7) 評価中間公表への市民意見	総合評価「C」は辛すぎる。できる限り多くの機会を捉えて、利用方法をPRすべきだ。

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	346	340	320	344	出展・出演者謝金	235
2) その他の間接経費(千円)					需用費(消耗品、印刷製本費・食糧費)	29
3) 従事正職員の人件費(千円)	2,465	1,658	1,647		ピアノ調律手数料など	56
総事業費(1~3の合計;千円)	2,811	1,998	1,967		H14 主な特定財源の内訳	
総事業費中の一般財源(千円)	2,811	1,998	1,967		金額(千円)	
市民一人当たり一般財源使用額(円)	51	36	35			
事務に従事した正職員のべ人数	0.30人	0.20人	0.20人			

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
ロビー展・ロビーコンサート開催数(回)	目標値	14	14	14	目標値は、年度当初の予定により決定(12回+公募2回)
	実績値	14	15	16	
	達成率	100.0%	107.1%	114.3%	
	目標値				/
	実績値				
	達成率				
	目標値				/
	実績値				
	達成率				

5 事業の成果

事業名：ロビー展等開催事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
ロビー展1回における鑑賞者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	400	実績は、鑑賞者数。目標値は、実績をもとに設定。(80人×5日間)	記帳簿など
	実績値	265	310	350	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
ロビーコンサート1回における鑑賞者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	80	実績は、鑑賞者数。目標値は、ロビーのスペースから可能な鑑賞者数。	プログラム配布数等
	実績値	100	75	87	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	【課長評価】	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
【評価ポイント】 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか		庁舎ロビーで開催される事業として定着しており、目的で来庁する市民や別目的で来庁する市民が鑑賞している。			
2) 有効性・必要性	【課長評価】	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
【評価ポイント】 その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか		市内で活動する芸術文化活動家を発掘し、外の活動家の発掘に効果がある。継続的な発表の機会を提供することにより、身近な活動家の芸術文化を鑑賞する機会として定着している。			
3) 市関与の妥当性	【課長評価】	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
【評価ポイント】 その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か		文化振興のため、市内に潜在する芸術文化活動家の把握及び市民が芸術文化に触れる機会の提供は、必要である。			
4) 事業内容の妥当性	【課長評価】	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
【評価ポイント】 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか		市内で活動する芸術文化活動家は、文化団体に加盟するなどの活動家は把握できるものの、その他の活動家の把握は、活動家の情報等に頼るところが大きい。			

7 平成14年度事業の総合評価

【評点の意味】 A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	【課長評価】	C	【最終評価】	B	(前年度)
		庁舎ロビーという空間を活用した事業として定着しており、定期的な開催により市民の鑑賞意識が深まっている。		市内の活動家の発掘や、庁舎ロビーで行われ、市民の文化活動の浸透に有効である。費用対効果が高い。	

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	庁舎ロビーを活用した芸術鑑賞の場として、市民の芸術文化に触れる機会が増えている。また、市内に在住する活動家の発掘もすすんでおり、この活動家が市民に浸透し、市民の文化活動へつなげる。
最終評価	課長評価を了承する。

9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
上についでの説明			